

東日本大震災復興応援の継続を！



↑ ボランティアバスで向い南相馬市小高区での作業

↓ 朝霞市内で開催した

南相馬市の方を講師とした災害ボランティア講座



今年で、東日本大震災より10年を迎えました。あの日、一瞬にして多くのかけがいのない命と当たり前の日常が失われました。改めて、犠牲となった方々とそのご遺族に哀悼の意を表すとともに、被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

朝霞市は発災後、福島県須賀川市に職員派遣を、私の一般質問から福島県南相馬市に災害ボランティアバス運行事業を4年間実施くださいました。

今後も震災を教材として、災害ボランティア研修や講座などの継続を。

答弁：市民の災害ボランティアに対する意識の向上を図ることは、重要なことであると認識しております。災害ボランティアの活動は、社会福祉協議会が担っておりますので、社会福祉協議会が開催する災害ボランティア講座などにおいて、震災復興の取組などをご紹介できないか相談してみたい



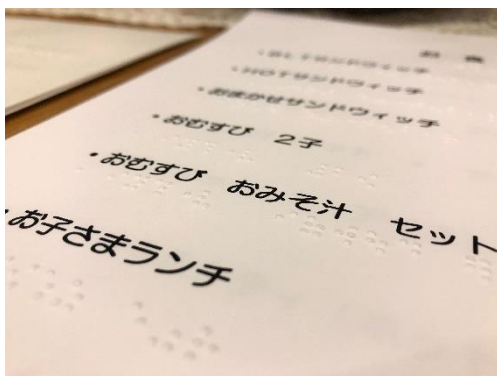
朝霞地区に新設予定の児童相談所の進捗を聞く
 今後も連携を強化するための情報共有と相談体制として周知を。

答弁：令和7年度に開所予定で「あさか向陽園」の隣接地を建設候補として一時保護所を併設する計画国の情報データベース化の運用開始を進めており、本市とも円滑な情報共有が行えるように整備しているところです。これらを活用しきめ細かな相談対応を行ってまいります。

児童相談体制強化を！



バリアフリー関連補助金が延長決定！



補助金を活用し作成した
 点字メニュー

バリアフリー工事補助金とバリアフリー物品購入等補助金は、東京オリンピック・パラリンピック大会を契機に店舗等のバリアフリー化を進めていただこうと実施してきたもので、大会が1年延期したことに伴い、令和3年度も引き続き実施するものです。一般質問で継続的に訴え2019年に実現したもので店舗、団体が対象となります、ぜひ活用を！